

見放される障害者

南米ボリビア中部の都市、コチャバンバの中心部から車で約20分。白い壁にオレンジ色の瓦を葺いた家で、4歳から31歳までの障害を持つ25人がリハビリに励みながら共同生活を送っている。彼らのうち8人が身寄りのない孤児で、ほか10人には家族がいるが面会に来ることはめったにない。週末に家族が迎えに来て自分の家で過ごすことができるのは、わずか7人だ。

多くの病人や障害者を治したことで知られるペルー生まれの修道士、聖マルティンの保護を願って「聖マルティンの家」と名付けられたこの家は、福岡県出身の野原昭子^{しょうこ}さんが10年前に始めた障害者自立支援施設だ。この運営を、福岡県に事務所を置くNPO法人エルピス会が、寄付集めやボランティアの派遣などの面で支援している。

南米の最貧国ボリビアでは社会福祉制度が整っておらず、障害を負ったせいで家族から見放され、物ごいをする人たちをしばしば目にする。今から14

惨な状態でした。暗い小屋に一人取り残され、尿便に囲まれながら真つ黒い手で頭の脇にあるジャガイモを食べていました。帰り道に訪ねたある病院には、8歳の男の子がいた。足が変形して歩けないこの子も、長い間食べさせてもらえず衰弱し切っていた。この2人の少年は、今では聖マルティンの家の「家族」となっている。

野原さんは言う。「子どもたちが望むのは、自分が愛情を受けるに値する人間だと認められること。そして実際にその愛を受けること」。家では月ごとに誕生会が開かれ、親や友人を招いて楽しみを分かち合っている。

そんな家族に昨年、JICA基金からプレゼントが贈られた。簡単な寝室と炊事場だけしかなかった郊外の畑に、赤レンガ製の勉強部屋とリハビリ用の施設ができたのだ。建設中、知的障害を持つ子どもたちが、自分たちの勉強部屋ができる喜びで工事現場から離れず、石やレンガを運んで手伝うほほ笑ましい姿が見られた。完成した今では、朝目覚めてすぐにノートとえんぴつを持ち、「勉強したい」とスタッフに催促する毎日だ。

野原さんには忘れられない出来事がある。12年前、事故で下半身不随になった青年の車いすを押そうとした時のことだ。「僕は歩けないけれど、手は使えるんだよ。使える手まで奪わないでくれ」。野原さんは青年の言葉にハッと

障害者の自立を目指す「愛の家」

ボリビア第3の都市コチャバンバには、日本人女性が運営する障害者自立支援施設「聖マルティンの家」がある。福岡県のNPO法人エルピス会が支援するこの家の「家族」は、自分たちの力で生きるため、日たりハビリや勉強に励んでいる。



農場にある建物の日よけの下に集う「マルティンの家」の子どもたちとスタッフ

た。「その人が本当に求めているものが何かを理解せずに、助けてあげようとする自分の傲慢さに気付かされたのです」。以来、家では施しではなく障害者の自立を目指した活動が続けられ、これまで約150人がリハビリや教育

を受けてきた。「子どもたちが回復し、親元に帰って行くときが一番うれい」と話す野原さん。社会から見放されることなく、この家の「家族」のように愛を受けられる障害者が一人でも増えることが望まれる。



(上) 郊外の畑で作業する子どもたちとスタッフ
(下) JICA基金で建てられたリハビリ施設



年前、修道女としてこの国に派遣された野原さんは、仕事の合間に障害者を訪ね、親身に世話をして回った。そのうち、障害を持った人たちが野原さんの元へやって来るようになり、家を貸してくれるという支援者が現れたことで聖マルティンの家の活動が始まった。紆余曲折を経て何とかここまでたどり着いたが、26人いるスタッフの給料や入所者の食費など、野原さんの頭からお金の悩みが離れることはない。

家では、看護師や作業療法士らの支えで毎日リハビリが繰り返される。郊外には障害者の作業療法場も兼ねた畑があり、15歳以上の子どもたちが野菜作りや家畜の世話に励んでいる。また、軽症の青年たちが作った飾り物などの商品を売る店も運営している。

「使える手を奪わないで！」

ある日、野原さんは5000メートルの高地にある貧しい村を訪ねた。そこに住む13歳の障害を持つ少年に会うためだ。「それは言葉も出ないくらい悲



互いに助け合って食事をとる車いすの子ども

あなたの小さな一歩から始まる国際協力 世界の人びとのためのJICA基金

JICAでは、国際協力に関心のある日本の皆さまからの寄付を、開発途上国の貧困削減や環境保全への取り組みに活用する「世界の人びとのためのJICA基金」で受け付けています。皆さまのご支援をお待ちしております。

寄付金の使われ方

お寄せいただいた寄付金は、途上国の貧困削減、医療や教育の提供、環境問題の解決などに取り組むNGOの活動に充てられます。各支援活動や寄付金事業収支についてのご報告は、「JICA寄付サイト」で公表します。

寄付の方法

「JICA寄付サイト」からお申し込み下さい。クレジットカードによる決済や、銀行・郵便振込みなどがお使いいただけます。
JICA寄付サイトURL : <http://www.kifu.jica.go.jp/>